

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	空家等対策事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	小林 悠人			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	計画的な土地利用				
事業の目的	空家等対策を総合的に実施し、市民等の生命や財産に対する被害を防止することにより、安心安全な生活環境を確保するとともに、空家等の利活用による活性化を目的とする。						
事業の概要	空家等対策審議会の実施や特定空家に対する解体費用の補助、空家等情報バンクの利用促進。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	800	200	10,118			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	空家等除却費及び空家バンク利用促進補助	件	4	1	5	5
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	空き家等情報バンク利用促進補助金を利用して空家を売買した件数は1件だったが、官民連携により空き家パンフレットを作成し、全戸配布した。今後も継続して事業のPRを図りたい。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	地籍調査事業		事業開始年度	昭和49年度			
担当課	産業経済部 農政課		担当者	齋藤 恒夫			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	計画的な土地利用				
事業の目的	土地トラブル防止、公正課税、成果の数値情報化による電算管理がされ利便性が向上する。又、公共事業等の正確な計画策定、災害時等の土地境界の復元等が可能となる。						
事業の概要	負担金交付申請→県・市における実施地区公示→地元説明会→境界立会→一筆地測量→閲覧→地籍図、地籍簿作成→国への認証請求→認証済地区の地籍図、地籍簿の法務局送付						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	10,339	11,011	26,129			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	地籍調査完了面積	Km <sup>2</sup>	64.92	65.01	65.09	65.28
	成果	数値情報化完了面積	Km <sup>2</sup>	57.97	57.97	57.97	57.97
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	国土調査法に基づき富野岡Ⅲ・向河原Ⅰ地区と向河原Ⅱ地区の調査を実施し、富野岡Ⅲ・向河原Ⅰ地区の後半工程及び向河原Ⅱ地区の前半工程を完了した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	立地適正化計画策定事業			事業開始年度	令和 4年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	富田 渉			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	計画的な土地利用				
事業の目的	従来の拡大型の都市構造から集約型の都市構造への転換を図り、都市機能や居住が集約したコンパクトシティの形成を図る。						
事業の概要	都市機能誘導区域や居住誘導区域を定め、都市機能や居住を誘導し、コンパクトな都市構造を形成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,424		7,700		4,400	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	計画的な土地利用が行われていると感じる市民の割合	%	54.5	59.4	60	60
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和4年度から立地適正化計画の策定に着手し、令和6年度に策定する予定。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	駅広場改修事業			事業開始年度	平成23年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	小林 悠人			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	氏家駅東口周辺の利便性向上				
事業の目的	JR氏家駅東口・西口広場の賑わいと潤いある安心安全な空間の形成						
事業の概要	駅東交通広場、駅東交流広場、駅西交通広場の修繕・改修工事、維持管理業務委託を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,415		1,132		1,091	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	修繕・改修・管理した施設数	件	3	3	3	3
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	環境や景観に配慮した維持管理や修繕を実施したことにより、快適な活気あふれる駅前広場となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	氏家駅東地区魅力向上事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	富田 渉			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	氏家駅東口周辺の利便性向上				
事業の目的	氏家駅東地区は都市の発展を牽引する重要な地区として位置づけられており、JR氏家駅や駅前商業地としての特性を活かした賑わいや魅力を促進する事業を検討する。						
事業の概要	氏家駅東地区の特徴や課題を踏まえ、住民参画のもと、市の発展と市民や来街者にとって魅力ある街なか形成のまちづくりに寄与する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,870		5,575		3,106	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	氏家駅東口周辺の便利・安全・賑わいに満足している市民の割合	%	29.2	32.1	33	34
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	氏家駅東地区魅力向上まちづくり基本計画（街なか交流軸形成エリア）」の策定に向けた準備を行った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	区画整理事務		事業開始年度	平成26年度			
担当課	建設部 都市整備課		担当者	磯藤 靖明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	定住・転入の促進				
事業の目的	保留地販売の促進。						
事業の概要	各種広告媒体等によるPR。 販売紹介手数料の支給や販売促進交付金の交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,479	354	284			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	当該年度に販売した保留地の区画数	区画数	1	0		
			区画数				
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新規販売がない状況下にて計画では残区画の2区画の売却を予定していたが、売却には至らなかった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	上阿久津台地土地区画整理事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	磯藤 靖明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	定住・転入の促進				
事業の目的	機能的で魅力ある都市空間の創出。 安全・安心で快適に暮らせる居住環境の形成。						
事業の概要	事業遂行に向けての工事および業務委託、並びに各種補償を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	52,324		129,048		71,677	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	活動	全体整備率	%	100	100		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	全体面積（66.1ha）の整備完了となり、換地処分公告やその後の登記、清算業務へ移行。計画に則した業務の進捗となっている。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	移住推進事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	岩崎 向志		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	定住・転入の促進				
事業の目的	本市への移住定住を推進し、人口増加を目指す。						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市への移住定住に関するPR活動やお試し移住事業を実施する。</li> <li>・移住支援金の申請を受け、該当者に交付金を支給する。</li> </ul>						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,436		1,864		8,294	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	移住定住イベント等における相談件数	件	26	45	50	60
	成果	移住支援金の申請件数（単身世帯含む）	世帯	1	1	2	3
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住イベントでの相談件数は、前年度よりも増加して合計45件となった。積極的な声かけや相談ブースの装飾、自治体紹介の資料の見直し等により、より多くの方々へ移住の提案を図ることができた。</li> <li>●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし</li> </ul>					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	草川用水環境保全補助事業			事業開始年度	平成 9年度		
担当課	総合政策部 総合政策課		担当者	高橋 岳陽			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	04	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	草川・水と緑の散歩道周辺生活環境の美化を維持するとともに市民や市外の訪問客が同散歩道を利用しやすい環境を作る。						
事業の概要	市が一部景観を整備した草川用水は鬼怒川中部土地改良区連合が管理。その法面の環境保全作業（除草作業）に要する経費の30%を補助金として交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	108		111		180	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	活動	作業実施日数	日	2	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	散歩道周辺生活環境の保全がなされ、市民や市外の訪問客が同散歩道を利用しやすい環境を維持している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	生けがきづくり奨励事業			事業開始年度	平成 8年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	富田 渉			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	04	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	生けがきの設置により緑化を図り、緑あふれるまちづくりに寄与する。						
事業の概要	一定基準を満たしたもので新規・更新は工事費の1/2、5万円を限度に補助。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	15		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	整備された生けがきの延長	m	271	0		
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	お丸山公園等再生計画事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	佐藤 直樹			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	04	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	お丸山再生基本計画に基づき、城跡としての歴史の継承を行い市民にとって身近な自然として、安全で安心して利用できる公園とする。						
事業の概要	桜植栽工事、公園施設整備及び維持管理						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	29,082		28,899		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	活動	草刈・伐採等を実施した面積	ha	4.3	4.3		
	成果	補植された桜の本数	本	0	10		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	草刈・除草業務、ヤマザクラ（10本）植栽工事実施 お丸山再生基本計画による再整備工事は令和4年度事業で終了。 令和6年度以降、草刈・伐採等業務は公園等維持管理事業へ植栽工事は公園等整備事業へ ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	公園施設長寿命化対策事業			事業開始年度	令和 5年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	佐藤 直樹			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	04	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	公園施設の長寿命化により安全・安心を確保しつつ、重点的・効率的な維持管理や更新を行っていく						
事業の概要	公園施設長寿命化に係る設計業務委託、工事等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		57,126		148,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	活動	公園遊具保守点検施設数	基		477	477	477
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	都市公園法施行規則に基づく公園施設の点検を実施					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	公園整備事業			事業開始年度	令和 5年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	佐藤 直樹			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	04	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	市民の憩いの場として、安全で快適に利用されるよう魅力ある公園を整備する						
事業の概要	公園施設新設、更新に係る設計業務委託、工事等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		26,004		23,550	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	活動	公園整備工事実施件数	件		2	1	1
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	勝山公園見本園張芝工事、鬼怒川運動公園炊事場更新工事実施					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	花と緑の小都市推進事業			事業開始年度	令和 5年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	佐藤 直樹			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	04	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	花と緑で彩られたまちづくりを推進することで、あらゆる世代の市民が生涯にわたり生活を楽しむことができる						
事業の概要	花と緑に関連した市民協働事業等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		2,169		12,045	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	活動	花育関連事業開催数			9	10	11
	活動	花育関連事業参加者数			305	320	340
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	花生関連事・講座等、記念樹贈呈事業、地域緑化花苗配布事業の実施					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	桜の郷づくり事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	佐藤 直樹			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	05	桜の郷づくりの推進				
事業の目的	さくら市の資源である「桜」への意識高揚を図り、市民と行政の協働による“桜の郷づくり”を進める。						
事業の概要	市の資源である桜を活かすまちづくりのための桜植栽工事、桜並木の維持管理の実施及び桜守とのクビアカツヤカミキリ防除作業						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	62,740		145,603		74,069	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	活動	市が植栽した桜の植樹数	本	161	204	30	80
	活動	桜維持管理に係る作業への市民の参加者数	人	134	88	300	350
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	早乙女桜並木、荒川桜堤への植栽実施 桜守養成講座による桜維持管理作業の実施					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	